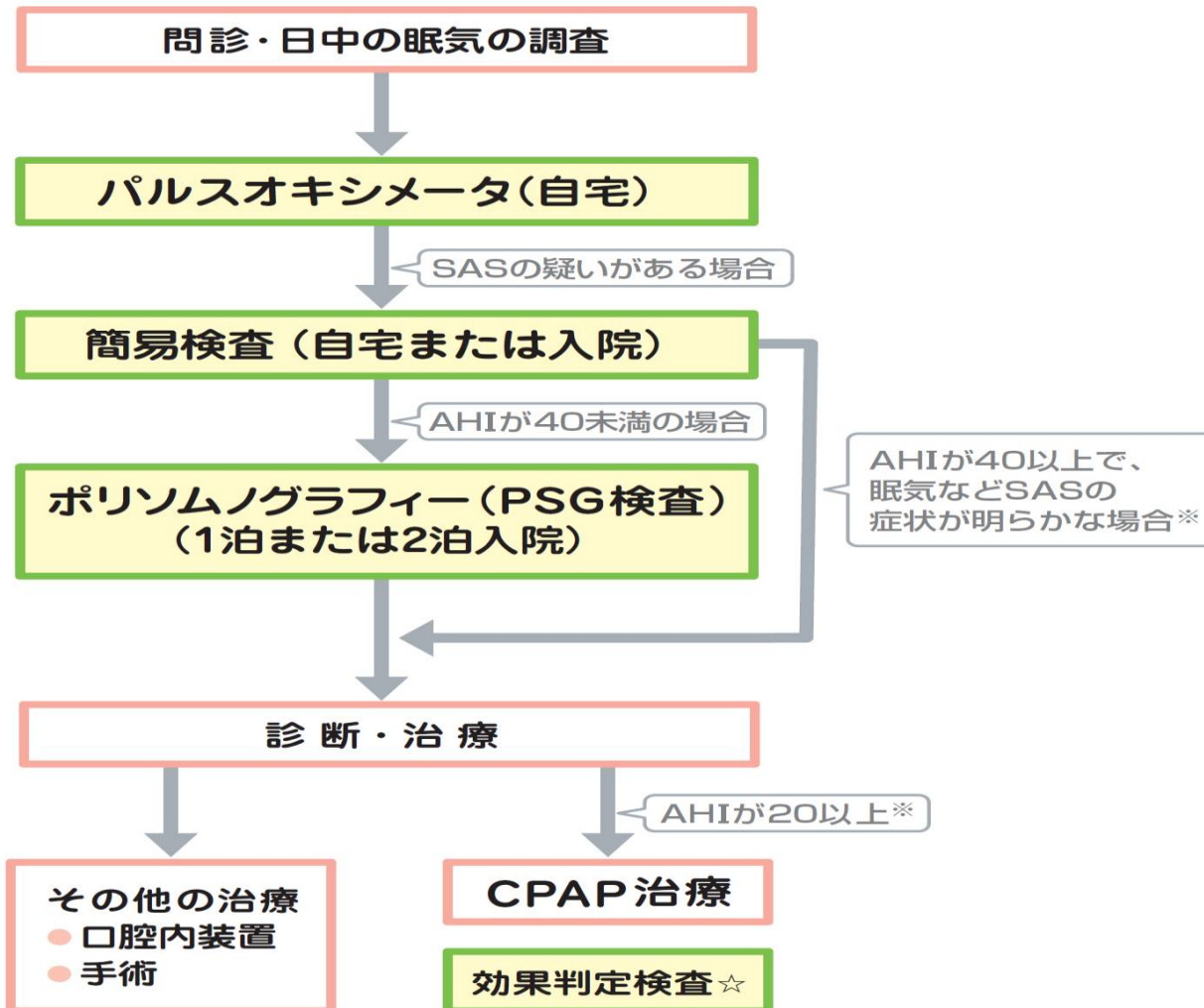


# 2. SASの検査

## 1 検査の流れ



## 2 検査の種類

### パルスオキシメータ

指先にセンサーをつけて、血液中の酸素の状態と脈拍数を測定し、睡眠中の無呼吸を予測します。



### 簡易検査

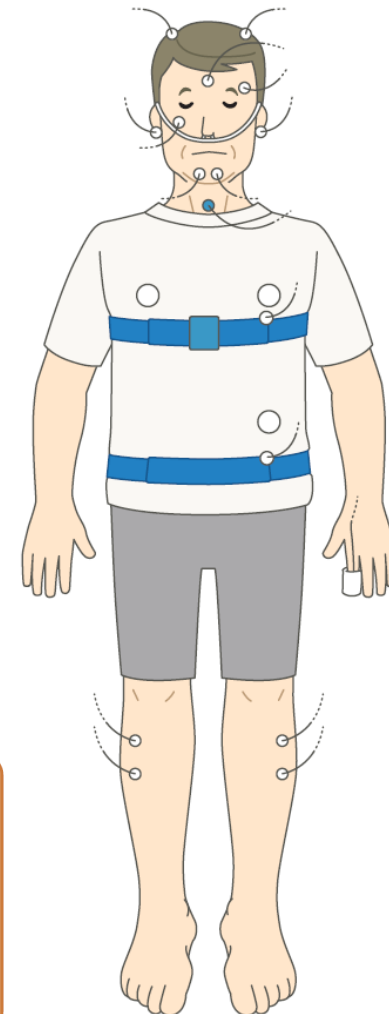
呼吸の状態や血中の酸素の状態などを測定し、睡眠呼吸障害の程度(AHI)を求めることができます。AHIが40以上で眠気などSASの症状が明らかな場合、CPAP療法の対象となります。AHIが40未満であれば、さらに精密検査(PSG検査)が必要です。CPAP療法後の治療効果判定の検査として行なうこともできます。



## 2 検査の種類

### ポリソムノグラフィー（PSG検査）

専門の検査施設等に入院して確定診断を行います。様々なセンサーを取り付け、実際の睡眠の質(眠りの深さや分断の状態)の評価をします。また、睡眠中の行動異常、不整脈などの評価も行い、他の睡眠障害、合併症の有無について診断します。



PSG検査は、専門の検査担当者が様々なセンサーを装着していくこともあり、入院して行なうこととなります。また脳波という微細な信号を捕らえていくため、検査に適した部屋での入院となります。しかし痛みは全くありません。センサーも眠っている間に取れてしまわないようにしっかりと取り付けます。